

光安義光と村野藤吾

Yoshimitsu Mitsuyasu and Togo Murano

共振するモダンデザイン

Resonance of Modern Design

2026.3.23 mon. — 5.16 sat.

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

開館時間：10:00 — 17:00（入館は16:30まで）

休館日：日曜日・祝日

入館料：一般 200円、大学生 150円、高校生以下無料

* 大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学生・院生は学生証の提示により無料。

* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳をお持ちの方及び付添の方1名は無料。入館の際は、手帳の提示をお願いします。

主催：京都工芸繊維大学美術工芸資料館、村野藤吾の設計研究会

協力：京都・大学ミュージアム連携

www.museum.kit.ac.jp

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES

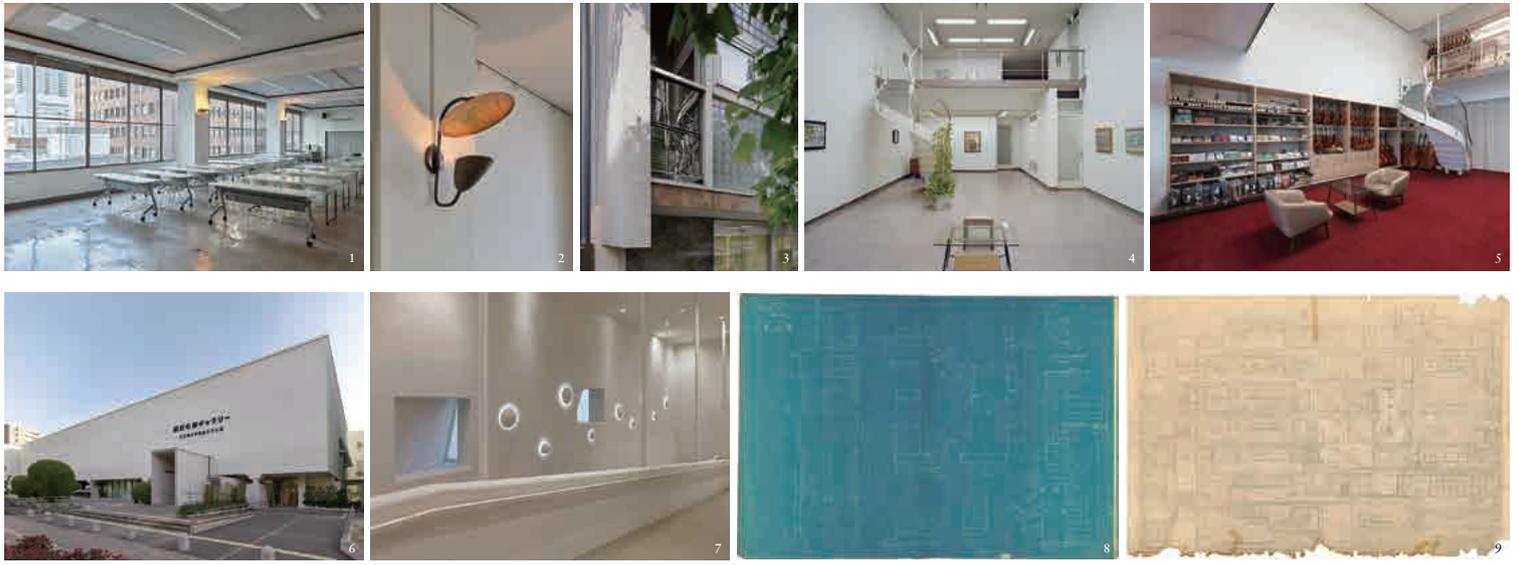


表 | 左上: 兵庫県立近代美術館 (現・兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー) 外観 左下: 日本真珠会館 外観 右: フジカワビル 外観
裏 | 1 日本真珠会館 内観 2 日本真珠会館 照明器具 3 フジカワビル 外観 4 フジカワビル 内観 (改修前) 5 フジカワビル 内観 (改修後)
6 兵庫県立近代美術館 外観 7 兵庫県立近代美術館 内観 8 日本真珠会館 避難階段詳細図 (AN.6228-19) 9 フジカワビル 各部詳細図 (AN.5271-39)
表および裏 1-7 写真: 市川靖史 8, 9 所蔵: 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

日本の公共建築は、戦前にはそのほとんどが国や各自治体の営繕組織によって設計されていた。しかし戦後になると、復興期や経済成長期の仕事量の増大により組織内部ではまかない切れず、民間の設計会社や著名建築家に設計が外注されるようになる。それにつれて営繕組織は、徐々に設計力を失っていった。ところが兵庫県営繕課は、戦後も長らく優れた設計力を持ち続け、良質なモダニズム建築を生み出し続けた。そしてその中心に光安義光(1919-99)がいた。

光安は1942年に東京工業大学を卒業した。在学中は谷口吉郎の教えやル・コルビュジェの影響を受け、「アブストラクト」と呼ばれる抽象画を描くことに没頭した。卒業後に召集されてビルマへ出征するが、終戦により復員。「設計したいから」と、1950年に兵庫県営繕課に就職する。日本真珠会館(1952年)や兵庫県庁舎(1966・70年)など、モダニズムに基づく良質な公共建築を次々と実現させ、1965年から1971年まで営繕課長を務めた。

そんな中、光安は尊敬する村野藤吾に兵庫県立近代美術館(現・兵庫県立美術館分館 原田の森ギャラリー)の基本設計を依頼する。実施設計は光安率いる兵庫県営繕課が担当し、1970年に竣工した。同美術館は従来、村野単独の作品として捉えられてきたが、実際には村野と光安という二人の建築家の協働により実現したのだった。

今回の展示会は、この二人の建築家に焦点を当てる。協働により実現した兵庫県立近代美術館と、光安の設計による日本真珠会館、そして村野の設計により同時代に竣工したフジカワビル(1953年/国・登録有形文化財)の3つの作品を取り上げる。いずれもモダンデザインに基づきながら、抽象的な装飾を備え、細部まで丁寧に仕上げられている。二人のデザインは共振しているかのようだ。

日本真珠会館は2023年に老朽化を理由に解体されてしまったが、その際、家具や照明器具の一部、図面資料が当館に寄贈された。また兵庫県立近代美術館については、光安の遺族により図面や書簡が保存されていることが判明した。フジカワビルについては、当館が図面資料を所蔵している。これらの資料や各建物で保管されている資料を用いながら、二人の協働のあり方やデザインに見られる同時代性など、その共振性を捉えたい。

同時開催:

「隣人—スケッチにみる長谷部鋭吉の建築と人柄」展

お問い合わせ:

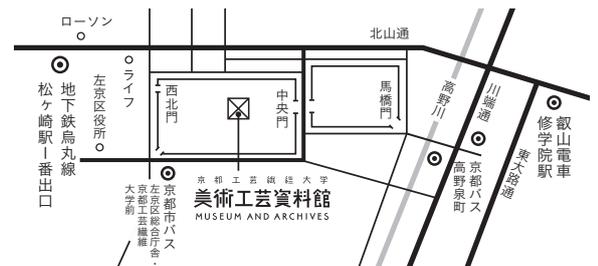
京都工芸繊維大学美術工芸資料館

Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

Hashigami-cho Matsugasaki Sakyo-ku Kyoto-shi Kyoto
606-8585, Japan

TEL: 075-724-7924 | shiryokan@jim.kit.ac.jp



市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1番出口から徒歩約8分
京都バス「高野泉町」下車徒歩約10分
叡山電車「修学院駅」下車徒歩約15分

By Subways: Take Karasuma Line Subway to "Matsugasaki" Station, exit from Exit 1 and walk east for 8 minutes.

By Kyoto Bus: Get off at "Takano-Izumicho" stop. Cross the Takano river and walk west for 10 minutes.

By Eizan Railway: Get off at "Shugakuin" Station and walk west for 15 minutes. Museum and Archives is located in front of the main entrance of KIT west campus.

